

とれいんとれいん

2013. 2. 1

発行責任者： 遠山 雅彦

1月24日、昨年末に提案のあった3月16日のダイ改の申し入れに対して業務委員会を開催しました。今回のダイ改の特徴は、車内販売廃止、セントラルライナー廃止、下りホームライナーの4本が瑞浪止まりになるなど、コスト削減が全面に出ています。これではサービス低下から鉄道離れを起こす結果になるのではないかと、私たちは指摘しています。

以下は業務委員会での神領関係などで特徴的な議論です。詳細については地本業務ニュースを参照して下さい。

【神領運輸区】運転士

■ATS-PT導入により併合作業に時間がかかるので時間を10分以上確保すること。

回答:必要な時間は確保している。

組合:ATS-PTの導入により確認項目が増えているが考慮しているのか。

会社:必要な時間は確保している。

組合:余裕のない確認作業を行っている。安全面からも余裕の持った確認・点検作業が出来るように10分以上の時間を確保すること。

■冬季予熱要員を付けてパン上昇のまま暖房「入」とすること。

回答:必要な要員は確保している。

組合:必要な要員とは誰のことか。

会社:乗務員が早く起き対応している。

組合:乗務員ではなく専門の要員を確保するべきである。

会社:乗務員が行うことになる。

組合:20分早く起こされることは乗務員にとっては大きな負担である、専門の予熱要員を確保して泊まり体制で行うべきである。通電しなかった時の対応と予熱が早く出来、車内も暖かくなりサービスのアップにもなる。

■中津川運輸区では2Fの休憩室が使用禁止となっていた。長時間の労外にもかかわらず休憩する場所が1Fの詰所だけである。改善すること。

回答:その様な考えはない。

組合:使用禁止の理由は何か。

会社:2箇所も必要ないと考える。

組合:洗面所が使えないので流しで顔を洗ったりしている。改装を考えているのか。

会社:その様な計画はない。

組合:使用禁止の理由もたいした理由でない、今まで通り使用出来る様にする。

(裏面もあります)

■弁当を買いに行くのにも、いちいち詰所に行き、乗務カバンを置き、脱帽で買いに行くと、ただでさえ少ない食事時間がなくなってしまう。詰所に行く途中でも、弁当を買えるようにすること。

回答:必要な時間は確保している。

組合:行路によっては一度、詰所にカバンを置き弁当を買って戻って来ると時間がなくなってしまう。詰所に行く途中で弁当を買うことくらいは認めるべきである。

会社:詰所へ戻るまでは勤務である。認められない。

組合:ならば、食事時間を労基法に基づき1時間確保すべきである。

■1組の行路を63・ー・64・65ーを65・ー・64・63・ーに変えること。

回答:一部修正する方向で検討する。

【共通項目】 出発点呼を簡素化して時間を短縮すること

回答:その様な考えはない。

組合:乗務するにあたり必要のない項目が多くなっている。もっと簡素化すべきである。

会社:必要な内容を伝達している。

組合:準備時間が少ないので出勤点呼前に掲示物を見たり、書き写している。

会社:必要な時間は確保していると考える。

組合:出勤時間から出発点呼までの10分が必要な準備時間と解釈して良いか。

会社:おおむね10分あればよいと考える。

組合:現実は10分では準備出来ないから問題にしている。現場の実態を把握し改善すること。

JR東海労神領分会